

1

2016年1月19日(火)



第55期(2016年3月期) 第3四半期決算説明会

(2015年4月1日～2015年12月31日)

代表取締役社長	最高経営責任者(CEO)	保木 潤一
常務取締役	営業本部長	山本 幸雄
経営企画部	広報課	山下 洋

HOGY MEDICAL Co., Ltd.

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

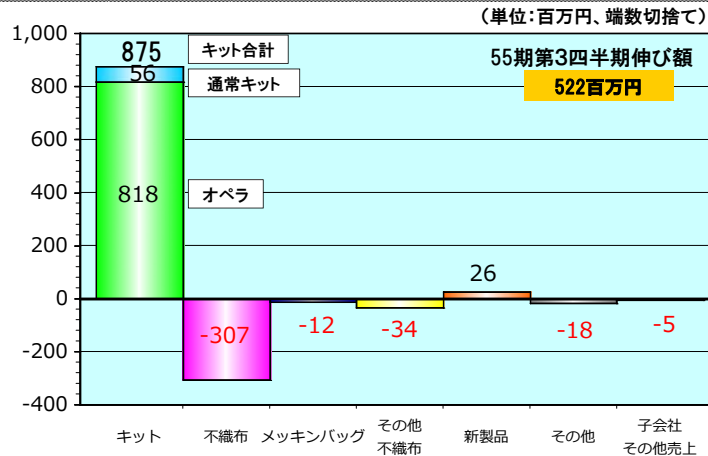
本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

業績の概要

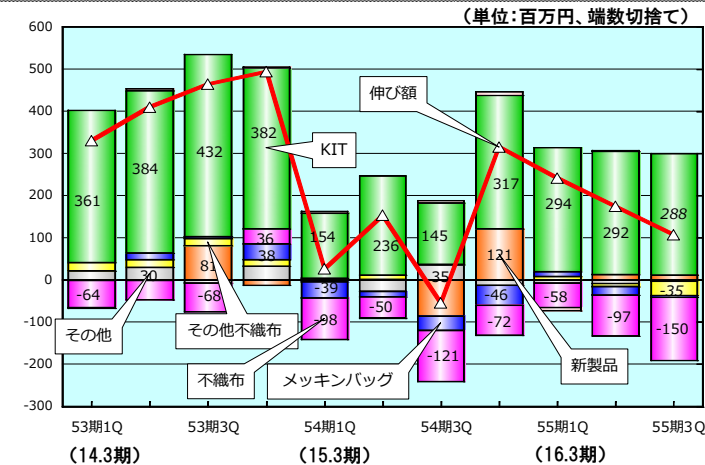
第55期(2016年3月期)第3四半期損益計算書

単位:百万円 切捨て	15.3 54期3Q実績		16.3 55期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	26,532		27,055		522	102.0%
営業利益	6,489	24.5%	6,561	24.3%	72	101.1%
経常利益	6,744	25.4%	6,701	24.8%	△43	99.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,445	16.8%	4,556	16.8%	110	102.5%
E P S	282.65円		289.68円			

第55期(2016年3月期)第3四半期 主な製品の売上高伸び額



第55期(2016年3月期) 四半期別売上高伸び額の内訳



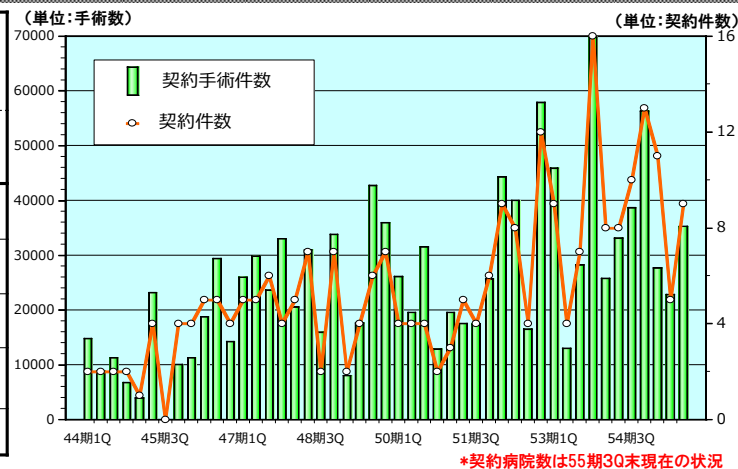
第55期(2016年3月期)第3四半期損益計算書

オペラマスター契約の件数と手術件数推移

第55期(2016年3月期)第3四半期 ポイント



単位:百万円 切捨て	15.3 54期3Q実績		16.3 55期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	26,532		27,055		522	102.0%
営業利益	6,489	24.5%	6,561	24.3%	72	101.1%
経常利益	6,744	25.4%	6,701	24.8%	△43	99.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,445	16.8%	4,556	16.8%	110	102.5%
E P S	282.65円		289.68円			



- オペラマスター病院の手術件数は順調に推移
- オペラマスター契約施設数は、上期で新規契約数が25件、解約が7件(1Q:11件、2Q:5件、3Q:9件)
- 手術管理システム 3施設で契約立上げ中
- EMARO臨床試用の評価が好評
- 新工場建屋が8月に完成し、生産設備の据付開始
- 新工場の償却費用と為替の影響を受け原価が上昇

通期見通しについて

第55期(2016年3月期)損益計算書

55期実施の施策

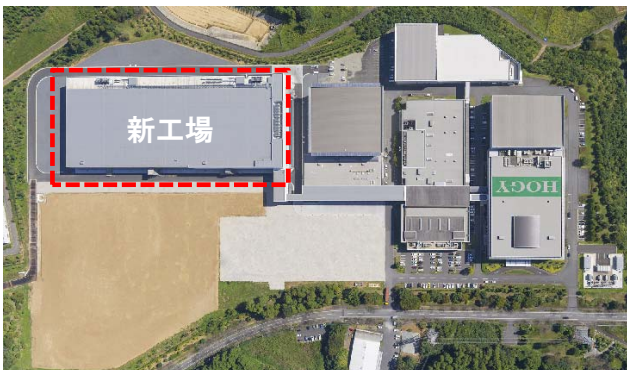
7

単位:百万円 切捨て	15.3 54期実績		16.3 55期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	35,233		37,100		1,866	105.3%
営業利益	8,505	24.1%	8,290	22.3%	△215	97.5%
経常利益	8,768	24.9%	8,420	22.7%	△348	96.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,659	16.1%	5,500	14.8%	△159	97.2%
E P S	359.81円		349.69円			

- 上期「増収増益」、下期「増収減益」計画
- 低利益製品の整理
- DPC病院のⅠ群、Ⅱ群、Ⅲ群上位施設へのオペラマスター提案強化
- 内視鏡ホルダEMARO販売強化
- プロダクト制度の導入、活用
 - ✓ 営業、開発から選抜し組織
 - ✓ 「新商品の開発、生産、販売を促進」
 - ✓ 「市場ニーズの掘り起こし」
 - ✓ 「製品の顧客満足度」を追求
- 為替の影響や新工場償却による原価の高騰
- 中期的に売上構成を変更
- 新工場建屋の完成、生産設備据付け中
- プレミアムキット製品の臨床試用を第4四半期から開始
- 次世代の柱になる新製品と内製化の開発強化
- P.T.HOGY INDONESIAの生産性改善
 - ✓ 材料の管理から、生産性の改善へ自動化推進
 - ✓ インドネシア国内の販売強化

新工場の進捗状況

新工場の進捗状況



1Fロータリーラック



2F組み合わせ前バッファ



3F子ムルテ



3F自動倉庫

新工場計画

単位：百万円 切り捨て	53期 (14.3期)	54期 (15.3期)	55期 (16.3期)	56期 (17.3期)	57期 (18.3期)	58期 (19.3期)	59期 (20.3期)	60期 (21.3期)
建 物	▶							
生産システム			▶					
機 械 設 備	▶							
新 工 場 設備投資金額	5,100	12,681	7,200	4,340	1,470			
減 価 償 却 費 (新工場のみ)			700	2,420	3,550	3,390	2,850	2,440

売上高の詳細

オペラマスター進捗状況

売上高 : 10,189百万円(+818百万円:108.7%)

55期3Q契約件数:

新規: 9件

- DPC I 群病院: 1件
- DPC II 群病院: 2件
- DPC III 群病院: 6件

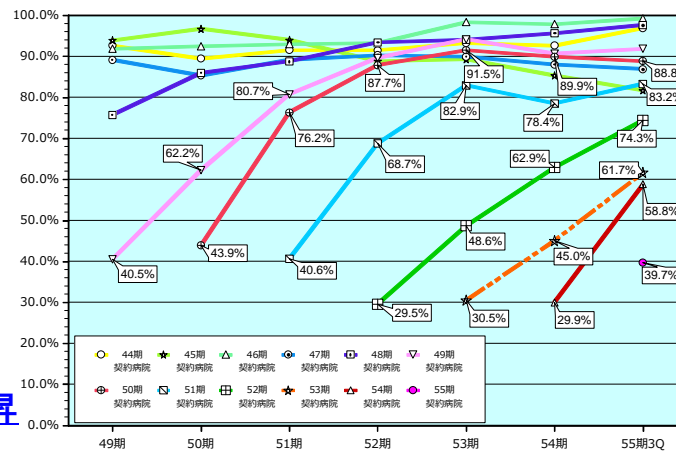
解約: 4件

55期契約件数: 25件 解約: 7件

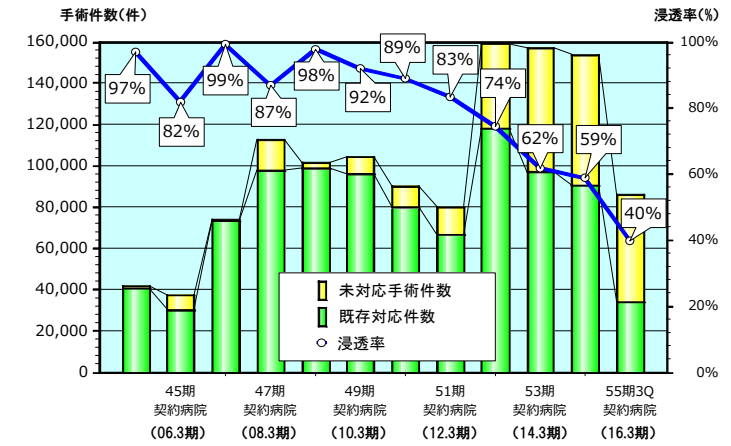
累計契約件数: 260件

オペラマスター立上げチームの効果により浸透率上昇

オペラマスター浸透率・手術件数(契約期別)



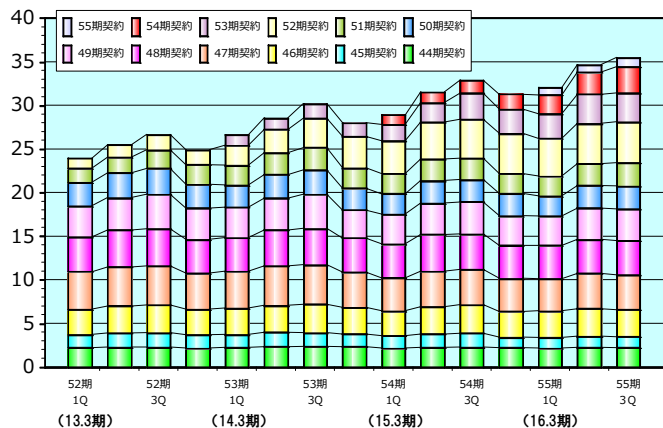
オペラ契約病院 浸透率推移



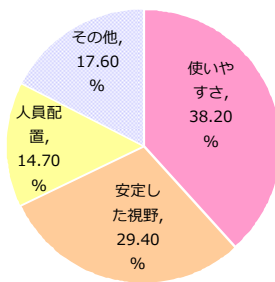
*契約、解約病院数は55期3Q末現在の状況

オペラマスター売上高推移

(単位:億円、端数切捨て)



EMARO臨床評価結果



評価	件数	ご意見
◎	14件	<ul style="list-style-type: none"> 手ブレが非常に少なく視野の安定した確保ができた 意のままに動かせた
○	35件	<ul style="list-style-type: none"> 追従性が非常に良かった 人員配置の効率化につながる
△	10件	<ul style="list-style-type: none"> ペダルが複数あるため足元が繁雑になった
×	4件	<ul style="list-style-type: none"> 鉗子の妨げになる配置だった

- 臨床評価は好評 待機施設へ順次、臨床試用
- 学会展示によって臨床試用消費先の増加

55期(2016年3月期)第3四半期 売上高のポイント



- オペラマスター前年比108.7%の成長
- 第3四半期オペラマスター獲得累計件数:25件
(DPC I群病院:2件 II群:6件 III群:16件 その他:1件)
- EMAROが8月に上市 引き続き臨床評価実施
- 第4四半期に手術管理システム3件の販売予定
- ランチョンセミナーを7回実施

業績の詳細

第55期(2016年3月期)第3四半期
損益計算書

第55期(2016年3月期)第3四半期
原価、販管費 分析

第55期(2016年3月期)第3四半期
営業外、設備投資、償却 分析



単位:百万円 切捨て	15.3 54期3Q実績		16.3 55期3Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	26,532		27,055		522	102.0%
売上原価	13,374	50.4%	13,940	51.5%	566	104.2%
売上総利益	13,158	49.6%	13,114	48.5%	△43	99.7%
販売費及び一般管理費	6,669	25.1%	6,553	24.2%	△115	98.3%
営業利益	6,489	24.5%	6,561	24.3%	72	101.1%
営業外損益	255		140		△115	
経常利益	6,744	25.4%	6,701	24.8%	△43	99.4%
特別損益	41		1		△39	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,445	16.8%	4,556	16.8%	110	102.5%
E P S	282.65円		289.68円			

原価率:前年比 1.1%上昇

- ・たな卸資産の評価の影響
- ・子会社の生産性の改善
- ・海外取引の際の円安影響
- ・新工場建屋取得による償却費増加

販管費:前年比 -115百万円

- ・人件費 -101百万円
- ・試験研究費 -89百万円
- ・減価償却費 +70百万円

営業外:140百万円(前年比:115百万円減)

- ・為替差益:前年比:124百万円減

設備投資:6,813百万円(前期比:3,841百万円減)

償却:2,378百万円(前期比:395百万円増)

- ・原価 :1,609百万円(前年比:325百万円増)
- ・販管費 :769百万円(前年比:70百万円増)

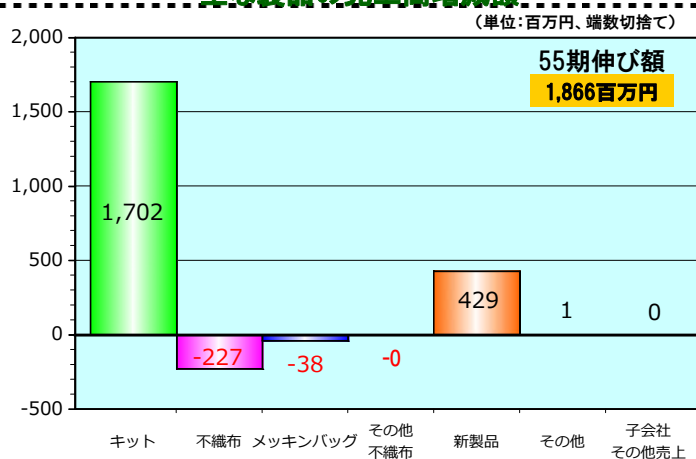


第55期(2016年3月期)詳細計画

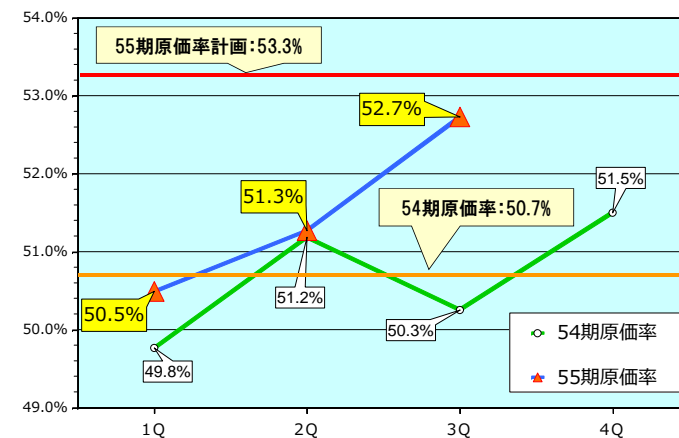
第55期(2016年3月期)損益計算書

単位:百万円 切捨て	15.3 54期実績		16.3 55期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	伸額	増減率
売上高	35,233		37,100		1,866	105.3%
売上原価	17,855	50.7%	19,760	53.3%	1,904	110.7%
売上総利益	17,378	49.3%	17,340	46.7%	△38	99.8%
販売費及び一般管理費	8,872	25.2%	9,050	24.4%	177	102.0%
営業利益	8,505	24.1%	8,290	22.3%	△215	97.5%
営業外損益	262		130		△132	
経常利益	8,768	24.9%	8,420	22.7%	△348	96.0%
特別損益	△89				89	
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,659	16.1%	5,500	14.8%	△159	97.2%
E P S	359.81円		349.69円			

第55期(2016年3月期) 主な製品の売上高増減額



原価率推移





第55期(2016年3月期)損益計算書

第55期(2016年3月期) 利益計画

単位:百万円 切捨て	15.3 54期実績		16.3 55期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	伸額	増減率
売上高	35,233		37,100		1,866	105.3%
売上原価	17,855	50.7%	19,760	53.3%	1,904	110.7%
売上総利益	17,378	49.3%	17,340	46.7%	△38	99.8%
販売費及び一般管理費	8,872	25.2%	9,050	24.4%	177	102.0%
営業利益	8,505	24.1%	8,290	22.3%	△215	97.5%
営業外損益	262		130		△132	
経常利益	8,768	24.9%	8,420	22.7%	△348	96.0%
特別損益	△89				89	
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,659	16.1%	5,500	14.8%	△159	97.2%
E P S	359.81円		349.69円			

原価率:前年比 2.6%上昇

- ・たな卸資産の評価の影響
- ・生産数量増加による生産性の改善
- ・海外取引の際の円安影響
- ・新工場建屋取得による償却費増加

販管費:前年比 +177百万円

- ・減価償却費 +117百万円

設備投資:8,300百万円(前期比:6,782百万円減)

- ・新工場投資額:7,200百万円

償却:3,429百万円(前期比:720百万円増)

- ・原価 :2,360百万円(前年比:602百万円増)
- ・販管費 :1,069百万円(前年比:117百万円増)

